

安曇野日和



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

そろそろ新型コロナの話題から離れてみます。私、個人的にほとんどテレビを見ない生活なのですが、インターネットは概ね人並みに見えています。ヤフーなどの大手ポータルサイトに限らず多くのサイトでは日々話題が何かしら羅列されています。

その中で「ひろゆき」という人物がちょくちょく取り上げられていて、やれ「誰その言動を批判して炎上」だの「ホリエモンと仲違い」など、まあどうでもいいことですし「しょーもない人なんだな」という程度の印象でした。

ある日興味本位で、いったい何を言って揉め事を起こしているのか、と記事を読んでみたところ、中々面白い考えを持った人だと分かりました。そもそも「2ちゃんねるを創設した」というだけで印象が悪かった、何しろ無記名、匿名のけなし合いの場、と認識してましたので……。しかし、その管理者ということは、それだけ「人の欲や業」を目の当たりにしているということで、それ相応に動じない人物だったようです。

日々ネット上に放り込まれてくる（主に）有名人の失態に対して、決して感情論に流されることはなく、一傍観者として、（私の感覚からすると）絶妙な位置から物事を見て、チクリと発言する。チクリとされた側は面白くないので当然反論するし、私にはよく理解できないけれども持論を振り回して便乗するネット民が沢山いるので、結果的にちょくちょく騒ぎになるという構図なのでした。

それでも、ほとんど無法地帯化しているネットという場には、こういった「神」に近い役割の人が必要なんだろうなあ、としみじみ思ったのでした。

表紙写真 写真タイトル：「白馬絶景！」

撮影者：樋口 孝

第10回白馬国際トレイルランに参加し、例年にないほどの晴天で、白馬の山々や八方・岩岳スキー場、ジャンプ台が一望出来る景色の美しさに、ロスタイムを無視し撮影しました。

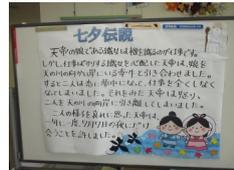
七夕レク

各病棟で、七夕にちなんだ病棟レクリエーションを行いました。

2-2病棟では、七夕〇×クイズと彦星・織姫ゲームを行いました。このゲームは先端にうちわが付いた紐を巻き取っていき、早く手元に来た人の勝ち。うちわの上には彦星・織姫を乗せて落とさないように慎重に紐を巻き取りました。午後のお茶の時間には職員と患者さんで作った、水ようかんを食べました。七夕の雰囲気味わえるように、水ようかんの上に黄色の食紅で色づけして星形の牛乳寒天を乗せました。

1-1病棟では、七夕のお話を聞いたり、七夕の歌を歌ったり、一人ずつ短冊に願い事を書いて笹に飾り付けを行いました。家族の健康を願う方が多かったです。

2-3病棟では、七夕の星釣りゲームを行いました。上位の方は表彰式で賞状を受け取り、とてもいい笑顔が見れました。午後のお茶の時間には、職員の作ったババロアも食べました。



スイカ割りレク

毎年恒例のスイカ割りレクを行いました。

2-2病棟ではスイカのビーチボールを使って、スイカ割りを行いました。希望者には目隠しも使用し、本格的に行いました。患者さんが「もっと右!」「そのままっすぐだよ」等、誘導したり応援したりと、とても盛り上がりました。

1-3病棟もビーチボールでスイカ割りを行いました。見事にボールをたたくと、会場から拍手が上がりました。お茶目な職員が楽しく動いて、どよめきや笑いがおきました。スイカ割りの他にスイカの的当てゲームも行いました。机の上のスイカの的にお手玉をなげ、倒していくゲームで、自信のある患者さんが次々に挑戦していました。また、1-3病棟の職員もゲームに参加し、大いに盛り上がりました。

どちらの病棟でも、午後のお茶の時間にはスイカを食べ、夏を満喫した一日となりました。



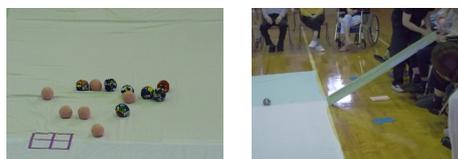
オグラオリンピック



9月29日、30日の2日間病院行事としてオグラオリンピックが行われました。今年は東京でオリンピック・パラリンピックが行われたこともあり、当院でもそれにちなんでスポーツの祭典を行いました。

内容はパラリンピックの正式種目にもある、「ボッチャ」を各病棟毎に行いました。

ボッチャとは・・・



ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、ジャックボール（目標球）と呼ばれるボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う競技です。障害によりボールを投げることができなくても、勾配具（ランプ）を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加することができます。

当日までには何度も練習の場を設け、たくさん練習をしてきました。練習の成果を発揮できた方、練習ではもっとできたのに・・・と悔しがっている方、練習の時よりも高得点を取れた方、と様々でした。

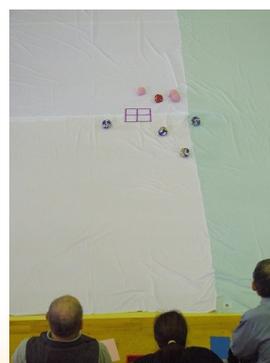
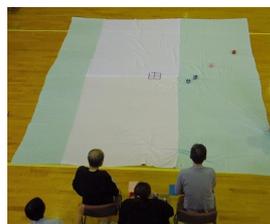
個人戦、ペア戦と行い、各病棟上位3名（3ペア）には、金銀銅のメダルが授与されました。メダルを首からかけ、嬉しそうにしている姿が多く見られました。メダルを病棟に持ち帰り、部屋に飾ったり職員に見せたり、ずっと首からかけていたりと誇らしげな姿が見られました。

午後のお茶の時間にはおやつが出て、いつもより少し豪華なケーキの盛り合わせが提供されました。



患者さんからの感想

楽しかった、負けたけど楽しかった、来年もやりたい、思ってもみなかったご褒美が頂けて嬉しかった、まさか金メダルがもらえるとは思わなかった、いろんな投げ方ができて楽しい、子どもに返った感じでたまには良かった、おやつがケーキが美味しかった。等今までやった事のない新しい競技に多くの方の嬉しい感想が聞かれました。



セレクトおやつ

10月20日、食事療養部主催のセレクトおやつが開催されました。所狭しと並んだケーキ、プリン、練りきり、アイスクリームetc...から、患者さまは好みの物を選び楽しみました。食事形態が低い方々にも食べやすいおやつが用意され、大勢の人が参加できるよう工夫されています。部屋にこもりがちな方もこの日はホールに出ています。色とりどりのスイーツに囲まれ、皆さんわくわくした表情で時間を過ごしていました。スイーツには、普段と違う患者さまを引き出す力があるようです。



不在者投票



当院では、選挙の投票日に入院中で外出ができない等の理由で、地域の投票所へ行く事ができない患者さんに対して、不在者投票施設の指定を受け対応しています。

今回は2回の選挙があり、令和3年10月13日の安曇野市長選挙・安曇野市議会議員一般選挙と、令和3年10月27日の第49回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査と県議会議員松本・東筑摩郡区補欠選挙で、50名の患者さんが、院内に設けた投票所において不在者投票を行いました。

病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

城西医療財団HP www.shironishi.or.jp

編集後記

コロナウイルスの流行が減速し、人が集まれる機会が増えつつあります。当院でもご家族が、時間や場所の規制付とはいえ対面で面会できるようになり、患者さまの表情にも活気が戻ってきているようにみえます。安曇野日和新号では、院内活動を多く掲載しています。面会での患者さまの話しにプラスして、院内の様子も感じて頂ければ幸いです。